

資料 10

感想文

感想文

OTC薬の選択と指導

OTC薬のことは勉強する機会があまりないので勉強になった。私にとっては医療用医薬品より身近な薬なので、調べて楽しかった。症例をやってみて、患者さんの訴えは本当に大切だと思った。ただ治療をするだけでなく、何が1番患者さんにとって重要なのか、患者さんの仕事、家族など様々なことも考えないといけないので、薬剤師はほんとに**責任の重い仕事だ**と改めて思いました。

症例問題に取り組んでいる時、最初はどのアプローチをして良いのか難しかったが、患者情報や医薬品の情報などを整理していくうちに段々と目標が定まったように思う。今回の特論ではグループ学習で一つの症例に取り組む時間も多くなったが、実際に自分が薬剤師として患者さんにOTC薬を提供する際、一人で取り組まなければならない事も多いだろうし、短時間で解決しなければならない。**難しさは格段に上昇するのだろうと感じた。これから様々な経験を積んで、患者さんに信頼されるような薬剤師になりたいと思う。**

今まで、病院の薬は勉強したが**OTC薬についてはやることがなかった**。今回セルフメディケーションということでOTC薬などを勉強できてよかった。

症例検討はD1実習でも何度かやりましたが、細かいところまで目が向かず大事な項目を見落としてしまいがちだと感じました。特に、患者さんの主訴を一つ一つ丁寧に扱うことが大切なのだと思います。今回の発表では、小児量や家族歴、アレルギーや生活習慣などにも目を向けている班があったので勉強になりました。**主な、病状だけでなく、患者さんの不安や気にしていることも考慮して、薬を選択しなければならないのだと改めて感じました。**OTC薬についての事例は初めてだったので、調査方法に困りました。まだまだ、医療用、一般用医薬品についての知識が足りないなので、これから少しずつ身につけていきたいと思います。

今回のセルフメディケーションの特論を受けて気づいた事は、今まで**薬学部**にしながら、**OTCについての学習は、さほど深くしていなかった**という点でした。症例を解決するにあたって、医療用医薬品は浮かんできても、OTC薬にはなかなか考えをつけられなかった。薬事法が改正され、よりセルフメディケーションが重要となっていく中で、先生がおっしゃっていた様に、**患者側の薬にたいする基本的な知識が重要になるとわれ、そのために薬剤師がすべきことは新たに増えてくると思う。**

感想文

OTC薬の選択と指導

事例を4つに分け、さらに自分たちと同じ事例をもう一班に設けたのはとても良かったと思う。自分たちとは違う視点で調べ、構成しているためとても参考になった。また、自分たちの視点の良い点も気づけた。個人で資料作成を行わず、班で行ったことで皆で協力でき、自分だけでは出来ないことも出来るようになった。素晴らしいと思う。事例でガンの可能性があるかもしれないという内容だったが、前回の特論でもガンを取り扱ったので、ガンについての知識を増やすことができた。

この講義を通じて**症例問題を解く力が身についた**気がします。私たちの班は事例Bについて調べた結果、下痢や大腸癌の種類や原因を知ることができ、この患者に合った、適切な薬を処方できた気がします。また、他の班の事例の**プレゼンを聞くことで知識の幅を広げることが出来ました。**

D1実習などで、医薬品の処方について勉強をしていたので、課題に取り組みやすかった。スライドを作る時間や症例検討する時間も十分与えられ、時間的には問題なく、自由に発表内容を考えられた。一方で、あまり**グループ内での討論(議論)が行えるようなレベルの課題ではなかったし、そういう雰囲気ではなかったのは残念だった**と思った。また、他班の発表した症例(事例)についての**プリントや発表スライドの配布がなかったため、他班の発表について理解しにくかった**ように思えた。次回以降、同じようなゼミ(特論)があるのならこれらの点を改善してもらえると、よりやりやすくなるように思えました。

自分達の周りだけかもしれないが**薬剤師の職種に優劣をつける傾向**に正直いってあります。よくないことではありますがそれが現状でした。自分の中でも薬局で薬を売るといふことに若干の抵抗がありました。しかし、今回のOTC薬を中心とした授業をうけてそんな気持ちは**みじんもなくなりました**。とても奥が深く薬剤師としての知識を存分に発揮できるだろうと思いました。

この授業やD1実習などを受けることにより、これから将来自分**が薬剤師になる実感が**わいてきた。まだまだ薬剤師になるためには**知識や態度など勉強しなければならぬ**ことがたくさんあるのできちんと学んでいきたいと思った。

感想文

OTC薬の選択と指導

OTC薬で症例検討をしっかりとするのは初めてなので少し難しかった。OTC薬は**意外と奥が深い**と思った。

D1の延長みたいな授業でやりやすかったのでおもしろかったです。また、OTC薬や**過去に習った疾患の復讐**ができてためになりました。

OTC薬の選択と指導ということで、OTC薬やセルフメディケーションを主として事例検討するのは初めてで、薬局で薬剤師としてできることを考えるのは新鮮で面白かったです。D1や薬理で行った症例検討は主訴、現病歴、既往歴、検査値など与えられる情報が多かったのに対し、ゼミで行った症例検討では情報が少なく、**薬局で患者さんの病態を把握し、それに対して具体的な提案を行うことの難しさ**を感じました。

医薬品(処方せん)だけではなくOTC医薬品もあると、その薬の種類がとても膨大で一つ一つ覚えるのが大変です。ただ、OTCを中心とした授業はこれが初めてだったのでとてもいい勉強になりました。**処方に従ってただ薬をだすのと違って、薬局での薬剤師の対応がとても難しいものだ**ということを知りました。

今回のセルフメディケーションのゼミナールを受けて**薬剤師と患者さんのあるべき理想の関係**が分かった。また、OTC薬という日常で最もよく使用されている薬の使い方など普段学べないことを学べて良かった。その他、症例を調査することによって、**疾患の種類・特徴なども学ぶ**ことができて良かった。ただ、**症例の難易度と調査時間のバランスが少し悪かった**かもしれないと思った。

OTC薬の販売に対しての症例(事例)検討は初めてだったのでとても有意義でした！！とはいえ・・・実際の現場で、**薬剤師がどの程度対応できるのか、更に消費者側の意識(医師でもない薬剤師に何で病態を説明しなくてはいけないの?とか)**が期待する医療に対して十分ではないこと、など様々疑問は残りました。登録販売者がどういった勉強をしているのか分かりませんが、**病態を見極めでの受診勧奨ができるのは薬剤師だけだと思います！消費者の意識の変革、どうやって納得させるか？**というテーマでゼミをやってみても面白いと思いました。とっても楽しいゼミでした。

感想文

OTC薬の選択と指導

最後の発表で同じ事例を2つの班が考えると色々な意見が出て、最善なOTC薬も症例を検討しながら決定できると感じた。この機会を基にOTC薬についてもくわしくなりたと思った。かかりつけ薬局でなくかかりつけ薬剤師という先生の言葉が印象に残った。

今回、セルフメディケーションの演習をやってみて、OTC薬はとても奥が深く、薬剤師が活動できる分野だと実感することができました。必ずしもOTC薬だからといって安全だということではなく使い方によっては危険であるということ、また、一人一人患者(お客)の背景も異なっており、それを適切に評価することの大切さを学びました。今回、具体的に症例に取り組んだことで、問題へのアプローチの仕方や解決するために考えなくてはいけないことがよくわかり、とても良い機会となりました。来年、薬局実習のときにこの経験を生かせるようにしたいです。

ゼミを通じて、症例に対してどう判断するかが実際の現場でその人の人生にも関わるともしれない重大なことにも成りうるということがわかりました。いままで、OTC薬についてただ売ればいいんだと考えていたのでこの考えは本当にこわい考えであったということが改めてわかりました。

最近、ゼミやSGDの発表を多くやっていますが、OTC薬のSGDは初めてだったので、おもしろかったです。処方薬とは調べ方も全然違い難しかったけど勉強になりました。ネットでの勉強も意外と分かりやすく良かったです。家族が薬剤師なのですが、家族も面白がっていました。1ヵ月ありがたく楽しもうと思います。

OTC薬について調査するのは初めてだったので新鮮でした。医療用薬は治療薬マニュアルを見たり、医薬品医療機器総合機構で添付文書を見たりして正しい情報を得られましたが、OTC薬はOTC協会ページで添付文書が見られる事も知りませんでした。また、医療用薬よりもOTC薬の方が一般の人による「これは効く」という情報が多く、信じてもいいのか判断に困る部分もありました。情報の取捨選択がより難しいと感じました。どこまで深く調査し発表するかにもよると思いますが、症状を2つくらい検討してもよいのではないかと思います。ロールプレイングも勉強になると思います。

感想文

OTC薬の選択と指導

今回体調が良くない日に欠席してしまったことが多かったのですが、私はドラッグストアでのバイトを4年間続けていく中でいろいろな患者さん(お客様)に出会ってきて、対応に困ることも多かったので皆の発表を聞きとても勉強になりました。OTC薬を買う時に、お客さんによって薬剤師に求める情報量がそれぞれ全然違うので、薬の選択だけでなく、どのように接客してどこまで情報を提供するか迷います。ただ、今回発表した班で、太田胃酸をずっと使用して気に入っているのであれば、同じブランドからさがす、小児用の薬ならチュアブルタイプなど、個々のニーズに合わせて薬剤師が考えることが必要なんだと感じました。しかも、ドラッグストアではPB品を売ることも考慮すれば、利益や売上目標も考えなければならぬ時も多々あるので実際の現場に立つにはより幅広い知識と経験が必要だと思います。(今の私は簡単なことしか答えられず、すぐに先生にとりついてしまいますが)。OTC薬は医療用医薬品と違い配合成分が多いので、組み合わせの利点を考えること、さらに、薬事法改正により第一類医薬品は薬剤師しか売れないので、登録販売者の有無に関わらず薬剤師はこれからどんどん必要とされてくると思います。なので、薬剤師として自信と誇りをもって仕事ができるよう、これからもっと知識を身につけたいと思いました。とてもためになる授業でした！私の作った症例は実際に来店したお客さまの話をもとに作りました。私の店では、皮膚の薬が一番難しいと言われています(店長に)。ふだんの授業でもあまり皮膚疾患の薬は扱わないので是非使ってください！！

OTC薬について学ぶことが今までほとんどなかったのでとても新鮮でした。ドラッグストアなどでは、調剤薬局と異なり、医師の指示通りに薬をだすのではなく、薬剤師が直接患者さんと相談してアドバイスできるので、とてもやりがいがあると思います。今まで処方せん医薬品についてばかり行っていた症例問題もOTCについて行うことでOTCの調べ方や形態にも少しなれることができてよかったです。

OTC薬と処方薬では明らかにOTC薬の方が多量の成分を含んでいるため、太田胃酸の調査では全ての成分を調べるのが大変だった。D1よりも大変だったが非常にいい経験になり、OTC薬について少しは理解が深まった。あと、できればなのですが、他の班の症例問題のプリントを配布していただければ、もっと他の班の内容についても詳しく理解できたのではないかと思います。

感想文

OTC薬の選択と指導

D1実習ではOTC薬について調べたりしなかったので今回この授業はとても勉強になりました。処方薬では一種類の成分しか含まれていませんが、OTC薬には複数の成分が含まれているので、それぞれの成分が引き起こす副作用や薬効などについて調べるのが大変でした。また、今回私達が発表した事例の患者さんは太田胃酸を服用し、かつ高血圧で塩分制限を受けていた人だったのですが、薬に含まれていた炭酸水素ナトリウムが塩分制限に引っかかってしまうことに驚きました。実際同じナトリウム塩なので、影響するのは当然なのですが、調べるまで気付かなかったで、自分の視野の狭さと知識のなさを改めて実感し、もっと勉強しようと思いました。

OTCについてくわしくやったことはなかったので、今回やってみていろいろと知れた。将来、OTCはもっと増えていくので役立つと思う。結構楽しかった。

今回、一般用医薬品について理解を深めることができた。私は今まで一般用医薬品はあまり効果が高くなく、副作用も極めて少ないのであまり、他のことは考えなくてよいと考えていたが、意外と考えなければならない成分等があり、薬剤師としての考え方が活かすことができるんだと初めて感じた。お客様との相談の中で、疾病の相談もしてくる可能性も十分考えられるため、疾病の知識も十分に持っていなければならないと感じた。

マツモトキヨシの宣伝文句が「セルフメディケーションを推進する」とあるように、セルフメディケーションは今や当り前のことようになってきていると思います。「自分の健康は自分で守る」という認識が一般の人々に浸透し、それだけ人々も自分の健康管理に関心をもつようになってきたのだと思います。しかし、一般の人々が、店に並んだ多くの薬から、自分に合った薬を見つけるのは難しいことだと思います。そのようなときに薬剤師が存在することで、人々は自分に合った薬を安全に使えるのだと思いました。患者さんに「薬剤師さんに薬を選んでもたって良かった！」と思ってもらえるような、信頼される薬剤師になりたいです。

セルフメディケーションについて知識が深まり、楽しいものであった。パソコンでいろいろな情報を見れるのは今後、役立つし、非常に良いものです。これから活用していきたいと思う。